

市制施行50周年から、次の50年へ！歴史文化のまちづくり

～In the next half century beyond～

『文化財保存活用地域計画でつなぐ！
長岡京市の過去・現在・未来』

長岡京市文化財保存活用地域計画
文化庁認定記念シンポジウム

第Ⅰ部 基調講演

- 「文化財保存活用地域計画とは」
文化庁 岡本 公秀氏
- 「長岡京市文化財保存活用地域計画の特徴
～府立大生がみつけた長岡京市“らしさ”～」
京都府立大学 上杉 和央氏

第Ⅱ部 パネルディスカッション

<パネリスト>

- ・岡本 公秀氏
文化庁地域文化創生本部 文化財調査官
- ・上杉 和央氏
京都府立大学 准教授
- ・井上 満郎氏
長岡京市文化財保護審議会 会長
- ・松井 徳雄氏
長岡京市ふるさとガイドの会 理事
- ・山本 和紀氏
長岡京市文化財保存活用会議 会長
- ・中小路 健吾
長岡京市 市長

日時：令和5年 2月18日 (土)

13:30～16:00

※開場・受付は13時～

場所：中央公民館3F 市民ホール

参加費：無料

定員：100名

◆新型コロナウイルス感染拡大状況によっては中止、延期又は内容の変更をする場合があります。
◆当日、発熱・席などの症状がある方、同居家族などに感染が疑われる方がいる場合は参加を見合わせてください。

令和4年度文化庁文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）

長岡京市・長岡京市教育委員会



『長岡京市文化財保存活用地域計画』

市制施行50周年から、次の50年へ！歴史文化のまちづくり
～In the next half century beyond～

令和4年(2022年)12月16日付で国の文化審議会文化財分科会の答申を経て
『長岡京市文化財保存活用地域計画』が文化庁長官の認定を受けました！

『歴史文化×めぐる。』

かしこ暮らしっくなまちにせんと！

長岡京市には、乙訓古墳群や弟国宮、長岡京、勝龍寺城など、旧石器時代から現代に至るまで、多くの歴史文化があります。市内に点在する文化財を親しみめぐり、悠久の歴史に思いをめぐらせる――。

ともに歴史文化を磨きめぐり、次の世代へ着実につなげる――。

歴史文化を活かしたまちづくりと一緒に考えてみませんか！

遷都784年 長岡京

都が置かれ、新しいまちづくりの息吹が溢れる

過去

7つのものがたり
8つのビジョン
4つの方針
「長岡京市文化財
保存活用地域計画」

未来

現在

2022年
市制施行50周年

～シンポジウム 基調講演ゲスト～



文化庁地域文化創生本部 岡本公秀氏

おかもと きみひで

専門は日本建築史。ゼネコン勤務の後、京都府文化財保護課技師として近代和風建築総合調査や清水寺本堂ほか8棟保存修理工事などを行う。文化庁では、歴史文化基本構想を担当し、文化財保存活用地域計画の制度化に携わる。



京都府立大学 上杉和央氏

うえすぎ かずひろ

専門は歴史地理学。なかでも景観史や地図史を得意とし、地域の歴史を景観や地図から読み解く作業に取り組む。また文化財の1カテゴリーである文化的景観の調査や保存活用、歴史文化を活かした地域づくりを地域の人たちと一緒にしている。



問い合わせ・アクセス



詳細はこちらへ→



■ 申し込み不要・参加無料・先着100名 ■

【お問い合わせ】

長岡京市教育委員会文化財保存活用課

電話：075-954-3557

ファクス：075-954-8500

メール：bunkazai@city.nagaokakyo.lg.jp



【交通の案内】

○阪急長岡天神駅下車 西へ徒歩6分

○JR長岡京駅下車、阪急バス「開田」停留所より徒歩1分